



編集 SEF事務局
 連絡先 03-3358-4434
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「SEF3年目」

理事 加固康二

「十年一日の如し」と言う、光陰矢の如(過ぎ去りし時を懐かしむ思いが溢れ、人にとり十年は大きな節目であり、曲がり角でもあるようだ。人生の節目は様々あるが、この十年というのが現代人には分かり易い。60にして耳順(耳従い)、66で現役を退き、さて少しは世の為人の為と、npo-SEFに入ったものの、なかなかここにも俗世が渦巻いて、すんなりスッキリとは行かんものだ、と気付いたのは3年目。少し自分も鈍くなったな—と思いつつも、同様に地元デビューも掛け持ちし、これから一所懸命。今また、70を前にして岐路に立つとき、遠い過去や歩いた足跡を振り返り、小さき高台に上がってこれから十年先をぼんやりと見つめ、何かを思い描こうとする。ところで、この歳になれば「心の欲する処に従い、矩を超えず」(論語)というのだから素晴らしい。それぞれの歳、迫り来る老いに、人それぞれの想いを持つものです。

5月度理事会より

1. H21 年度事業計画・予算 / 最終案を議決	6. 会員管理マニュアルの作成報告
2. H20 年度事業報告書・収支計算書 / 承認	7. 会員の入退会について
3. 第7回通常総会・第17回会員連絡会 / 審議	8. H20 年度監査状況について
4. 事務局報酬について / 再提案を承認	9. 事業部会報告
5. 登録会員職務経歴書の作成報告	10. 改訂版総合カタログ案について / 承認

事業報告 「E&C事業部会」

担当役員 石田理事

E&C 事業部では海外関係のコンサルタントと職業大への非常勤講師派遣にここ数年取り組んできました。職業大については「SEF たより」にも何度か紹介をしてきましたが恒常的に講師を派遣し、それなりの実績を残してきました。本年度も3講座を受け持つ予定です。

海外の対応としては数年前からアフリカ、東南アジアの発展途上国の支援をボランティア精神で取り組んできましたが、期待した成果を得ることができず、現在はスポット的に発生してくる海外向けコンサルタントに都度対応してきています。

E&C は賛助会員に多数参加いただく中で新しいプロジェクトを起してゆくことを別のテーマとして掲げていますが、効果を発揮するに至っていません。反省するところは多々ありますが根本的な見直しが必要と考えています。以上、E&C 事業部会の現状をご紹介します。

SEFサロン 第50回報告 (5月27日 於: La Stella)

担当 水嶋会員

講師: 小池広行氏 演題: 「日本人の自画像」

講師は、現在東京電力・柏崎刈羽原子力発電所の環境プロジェクト担当部長業務の傍ら歴史研究をされ、成果を社外で積極的に発表し、同社元副社長・竹内哲夫氏に「彼は東電で異色の存在」と言わしめた方です。同氏は、青少年が健全な国家観を形成するために、重要な役割を果たす歴史教科書が、戦後ずっと自虐史観に基づいて発行されてきたことに不満を抱かれております。“確かに日本は失敗もしたが、良い点も沢山ある”と主張され、教科書は両面のバランスをとって作るべき、と「新しい教科書を作る会」でも活動されています。

今回の論点は 古代史に学ぶ日本人の自画像、アメリカの衰退によるこれからの日本、日本の左派は何故反日か、の三点であり、豊富な知識にユーモアを交え、日本人と日本の姿を明確に描かれました。しかも、お話の底流にあるのは天皇制の問題で、西欧の多くの王族が嘗て政治権力と一体であったため、興亡を繰り返して屢々家系が粉乱したのとは異なり、日本の皇室は政治権力と無縁で、清潔、控えめ、素朴と言う日本人の美德と伝統文化を守り続けた世界史に類を見ない家系であることを説明されました。しかも“君民共治と民主主義”について論述したルソーの「社会契約論」にも言及され、見事という他ありませんでした。

< 次回開催案内 > 「オペラを楽しむ」 講師: 池田香織氏 (二期会会員 オペラ歌手 メッソソプラノ)
 日時: 2009年7月8日(水) 18:00より (懇親会 19:30~20:30)
 場所: LA STELLA (ニュートーキョースキヤ橋本店9F TEL: 03-3572-2525)

5月度会員動向

正会員入会: 鶴岡 洋さん (環境事業部会 推薦理事: 加固)	5月末現在の会員数 正会員 34名 準会員 33名 賛助会員 3社
正会員退会: 萩原貞雄さん (理事・事務局長・コミ研)	
SEF 全体運営へのご尽力とコミ研でのご活躍に深謝 致します 伊澤敏彦さん (業務支援事業部会) 事業部会でご活躍戴きました	